

【オリコンサルグローバルらが設計・施工監理 マダガスカル港の港拡張事業着工】

マダガスカル港の 港拡張事業着工

オリコンサルグローバルらが設計・施工監理

オリエンタルコンサルタンツグローバル・ECHO Corporation が設計・施工監理を担当するマダガスカル港の「トアマシナ港拡張事業（パッケージ1）」（発注元トアマシナ港湾開発公社）の建設工事が始まった。施工は五洋建設・大豊建設Vが担当。23日に現地で起工式が行われ、ヘリー・ラジャオナリマンピアニ大統領領らが出席し、工事の無事完成を祈願した。

トアマシナ港は、マダガスカル港の国際貨物の7割以上を取り扱う同国最大の商

ラジャオナリマンピアニ
大統領と握手を交わす
米澤栄二社長（左）



業港。急速な経済成長と人口増加に伴う旺盛な貨物需要に港湾インフラが十分に対応しきれないため、政府は港湾機能を強化する拡張事業の実施を決めた。拡張事業は、国際協力機構（JICA）の円借款事業として二つのパッケージに分けて実施する。総事業費は約450億円で同国史上最大の公共事業になる。深さ16メートルの大水深岸壁（640メートル）やコンテナヤード（18畝）の整備などを計画し、パッケージ1が2020年、パッケージ2が26年の完成を予定する。